

異常気象の警報等発令時の対処

(1) 注意報・警報

- ※ 台風・大雪のおそれのある時は、原則として前日の終礼までに授業の実施等について連絡する。
- ※ 当日の対応については、午前6時の時点で学校ホームページ(緊急連絡)に掲載する。
- ※ 学校ホームページに関しては、アクセスが集中して確認できなかつたり、遅れが生じたり等する場合もある。生徒は、気象情報や地域の実情、公共交通機関の運行状況等に応じて対応すること。
- ※ 警報が出ていなくても、居住地域に避難指示・避難勧告が発令され、安全に登校することが心配される場合は、登校できない旨を学校に連絡し自宅で待機すること。

情報	授業	登校前発令	登校後発令
【注意報】 強風 大雨 洪水 大雪	平常授業	①今後の気象情報や地域に実情等を家族と相談し、通常の登校手段で安全に登校できることを確認した上で登校する。登校に際しては、できるだけ公共交通機関を利用する。 ②安全に登校することが心配される場合は、登校できない旨を学校に連絡し自宅で待機する。その後は、状況に応じ、安全に登校できることを確認した上で登校する。	気象情報や地域の実状、公共交通機関の運行状況等に応じ、すみやかに下校させることもある。
【警報】 暴風 【特別警報】 暴風 大雨 洪水 大雪	自宅待機 または 登校	①午前6時の時点で左記警報もしくは特別警報（避難指示・避難勧告）が北九州市内または居住地域に発令され、かつ通学手段として利用している公共交通機関が途絶している場合は、午前11時まで自宅で待機する。 なお、自転車通学生徒も、上記に準じて判断する。 ②午前11時の時点で左記警報もしくは特別警報（避難指示・避難勧告）が解除され、公共交通機関が運行している場合は、午後の授業に間に合うように登校する。ただし、今後の気象情報や地域の実状等を家族と相談し、安全に登校できることを確認した上で登校する。登校に際しては、できるだけ公共交通機関を利用する。安全に登校することが心配される場合は、登校できない旨を学校に連絡し自宅で待機する。	①気象情報や安全を確認した後、すみやかに下校させる。 【確認事項】 ・交通、道路情報の確認 ・保護者迎への有無 ・集団下校者の確認 ・自転車通学生徒の安全指導 ・下校途中で帰宅不能になった場合の対処方法 ②安全に下校することが困難な生徒については、保護者と連絡をとり、適切に対処する。
【警報】 大雨 洪水 大雪	平常授業	①今後の気象状況や地域の実状等を家族と相談し、通常の登校手段で安全に登校できることを確認した上で登校する。登校に際しては、できるだけ公共交通機関を利用する。 ②安全に登校することが心配される場合は、登校できない旨を学校に連絡し自宅で待機する。その後は、状況に応じ、安全に登校できることを確認した上で登校する。	気象情報や地域の実状、公共交通機関の運行状況等に応じ、すみやかに下校させることもある。 その場合は、上記確認事項を参照のこと。